

Sskp

CHIBA DARC NEWSLETTER



Keep on Growing!

No.19-1

平成29年12月号 編集:千葉ダルク事務局

千葉ダルク:千葉県千葉市中央区白旗3-16-7 ☎043-209-5564

今年もいよいよ残りわずかになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

千葉ダルクにおきましては、以前から皆様にお知らせしていましたが昨年7月に無事に社団法人化しまして団体名が「一般社団法人 千葉 DARC」に変わりました。正式なお知らせが出来なく遅くなり申し訳ありません。それと同時に障害福祉サービス事業の自立訓練・生活訓練(通所型)も昨年10月より始まりました。事務的な作業も増えてきて忙しい日々ですが県内でより良く活動していくため、また行政書士などの第三者を通すことにより安全で透明性のある施設にしていければと思います。

今回の福祉サービスを受けるにあたり今まで使用していた建物3階建て(デイケア・ナイトケア)をデイケアのみにリフォームし直しました。デイケアを広くすることにより多くの利用者が日中プログラムを受けるのに良い環境を用意しました。また松ヶ丘スリークオーターハウスを閉鎖し近くに新たに大森台ナイトケアを設置しました。以前の1ルームマンションとは違い2Kと広くなり過ごしやすい部屋となっております。全部で11部屋を借りて内3部屋を職員の部屋としています。

今年は3月に1名、4月に4名の利用者が卒業していきました。これも皆様の温かいご理解とご協力、また行政の皆様のご協力があったことです。ありがとうございます。先行く彼らの後を見て引き続き卒業生が出ればと職員一同思います。今現在、千葉ダルクは大森台ナイトケアに14名、九十九里ハウスに10名、南房総ハウスに10名、入院3名の総勢37名メンバーが利用しています。その他に以前施設を利用して無事に卒業したメンバーが数名通所しています。病院や福祉事務所の相談からの利用以外にも、今後は刑の一部執行猶予制度に則った刑務所を出所してからのケースも増えてくると思います。

施設のプログラムは月に一度みんなで食事やボーリング大会などの今までとは違った新しいプログラムも増やしています。ボランティアや農業プログラムも以前から引き続き行っており身近な方々との交流を通して自分たちが失っていたものを見つけ今後の回復と成長に役立てていければと思います。またスポーツプログラムのエイサーは様々な機関からのたくさんの依頼を頂き毎週演舞させてもらいとても感謝しております。何かイベントなどありましたら声をかけていただければと思います。

今後もこのような活動を続け、千葉ダルク一同力を合わせて回復と成長を目指していきたいと思っております。今後も仲間たちが不自由なくプログラムをやって行けるよう皆様方の変わらぬご理解とご協力、ご支援をよろしくお願ひします。皆様にとって来年が輝かしい年となることを願っております。

千葉ダルク

生活支援員 田畑 聡史



「気づきと築き」

リョウ

初めまして千葉ダルクのリョウと申します。私の使用していた薬物は覚醒剤とシンナーでした。薬物を使用しながら内装屋の職人として仕事もやり妻子と共に生活をしてきました。しかし15歳くらいから使用していた薬物を止める事もせずに生活をしていました。当時は薬物を使用しながら仕事もして、家族とも上手くやれていたと思っていましたが年月がたつにつれて使用する量や回数が多くなっている事に気づかなくなり仕事をやらなくなっていました。金銭的理由の為本命の覚醒剤の使用回数は減りましたがシンナーの使用回数が極度に増えましたシンナーは無料で手に入り自分では酒代わりの物だと思っていましたから妻子に対しても何の気兼ねもなく使用していました。しかし仕事では頼りにしていた元請けが2件立て続けに倒産したりして金銭の余裕がなくなりました。こうなるともう仕事をする気持ちがなくなり毎日薬物使用して仕事もしなくなりました。周りからは「子供が居るから仕事しろ」と言われていましたが薬物の事以外考える事が出来ませんでした。こんな状態が続き妻は自分の両親に相談をして都内にある薬物依存症回復支援施設に相談をして私も行きました。まったく施設の話など受け入れる状態ではなかった私を妻と両親は精神病院に連れて行きました。私は診察だけと思いましたが病院に行きましたがその場で措置入院となり帰ることも出来ず入院となりました。この病院は開放病棟ではなく閉鎖病棟のため逃げ出すことも出来ず仕方なく入院しました。入院中に妻と離婚となり子供とも会えなくなりました。入院中妻子と離別、無職となった時に千葉ダルク代表に会う事が出来ました。自分の事情を話し相談にのってもらいました。色々話を聞いてもらい仕事は出来ると考えを改め退院してすぐに仕事をしました。しかし薬物使用は止められず使いながら仕事をやり続け今度は実家に居られなくなり2度目の入院となりました。退院後のあてがないので依然相談に乗ってもらった千葉ダルクに入寮して早く仕事を見つけて退寮すれば良いと安易に考えていました。結局半年で勝手に職人の仕事と居住地を決め退寮しましたが給料をもらいすぐに薬物使用してどうにもならなくなり千葉ダルクに戻る事になりました。今回こそは就労プログラムまで行き円満退寮するぞと意気こんでいましたが退寮目前に今度は覚醒剤を使用してしまいました。ようやく無力であることを受け入れる事ができダルクに留まるときめプログラムを始めからやり直しました。今では施設の仕事をさせてもらっています。このような仕事の経験は無くミスをするたびに注意を受け何度も職人という逃げ道に戻ろうかと考えました。しかし自分の意思を使い過去に3度スリップを経験してしまい、それでも共に歩んでくれる仲間から学ばせてもらう事が沢山あります。日々気づくことの大切さを感じました。これからも今日一日薬を使わず回復目指して行きたいと思えます。最後まで読んで頂き有り難うございました。



お知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度千葉ダルクの団体名が変わりましたのでここで報告させていただきます。
以前からお知らせをしておりましたが、無事に平成28年7月15日より「一般社団法人 千葉ダルク」に団体名が変更しました。これもひとえに皆様のご支援・ご協力あつてのことと、心より感謝申し上げます。また、10月より千葉市障害福祉サービス事業の自立訓練・生活訓練を始めました。組織形態は変わり慣れないことや初めてのことが多くしばらくはご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが今後も皆様方の変わらぬご理解とご協力、ご支援を宜しく申し上げます。



新しいナイトケア 古いですが一部屋2Kと広めの部屋で2～3人で生活しています。



ミーティングルームも広くきれいになりました。

千葉ダルク活動報告

＜平成29年4月～平成29年12月の活動＞

みのりの郷東金にてエイサー演舞

千葉県こころのふれあいフェスティバルに参加・エイサー演舞

木更津工業専門学校へ薬物乱用防止教育 講演

市川保健所 青少年薬物乱用防止研修会 講演

法務省主催 社会を明るくする運動にてエイサー演舞

茨城ダルクフォーラム参加

千葉県立千葉工業高校へ薬物乱用防止教育 講演

社会福祉法人 若葉泉の里 にてエイサー演舞

四街道ケアセンターそよ風にてエイサー演舞

畑町ケアセンターそよ風にてエイサー演舞

秋元病院 秋元祭りにてエイサー演舞

秋元病院へメッセージ

国立下総精神医療センター家族教室へメッセージ

国立下総精神医療センターへメッセージ（毎月第一・第三水曜日）

八街少年院へメッセージ（毎月第一・第四水曜日）

千葉菜の花家族会ビギナーズミーティング（毎月第二水曜日）

JFSA 洋服選別作業ボランティア（毎月第一～三金曜日）

大網白里にて農業プログラム（毎週月曜日）

千葉県精神保健福祉センター相談業務（毎週第二・第四水曜日）

千葉保護観察所主催 身元引受人会に参加

条件反射制御法学術研修会に参加

千葉県精神保健福祉センターCHANCEプログラム（毎週金曜）

千葉市こころの健康センター依存症治療・回復プログラム（毎月第一・第三水曜）

＜平成29年12月度以降の活動予定＞

大里総合管理主催 十枝の森にてエイサー演舞

千葉保護観察所 プログラム参加

秋元病院へメッセージ（偶数月第二金曜日）

国立下総精神医療センターへメッセージ（毎月第一・第三水曜日）

八街少年院へメッセージ（毎月第一・第四水曜日）

千葉県精神保健福祉センターに相談業務（毎週第二・第四水曜日）

千葉菜の花家族会ビギナーズミーティングに参加予定（毎月第二水曜日）

大網白里にて農業プログラム（毎週月曜日）

千葉ダルクへの献金・献品のご協力ありがとうございました

平成28年7月～平成29年10月度支援して下さった方々

- ・黒川奈菜子 ・千葉菜の花家族会 ・志村俊彦 ・加藤輝男
- ・田畑健二 ・古山陽子・カトリック茂原教会・本宮丈男・仲里美代子

その他多数の匿名の方々（順不同 敬称略）

いつも皆様方には温かいご支援を頂き、誠に感謝しております。毎回お願いばかりで心苦しいのですが、引き続きご支援の方（石鹸・シャンプー・洗剤・毛布・ご家庭で使わなくなった、まだ使えるけど不要なもの掃除機等…）の献品・献金のご協力を宜しくお願い致します。

便宣上すべてのニュースレターに献金の為の郵便振り替え用紙を同封していますが、これは強制ではありません。また「匿名希望」の方はその旨を通信欄にその都度お書き下さるようお願いいたします。皆様の献金を心よりお待ちしております。

編集人 千葉ダルク 〒260-0841 千葉県千葉市中央区白旗3-16-7
発行場所 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102号
価格 100円

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC
CHIBA



※お問い合わせ

○千葉ダルク・デイケアセンター

〒260-0841 千葉県千葉市中央区白旗3-16-7

TEL 043-209-5564 FAX 043-209-5565

e-mail: darc-32th@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ: <http://chiba-darc.org/>

○九十九里ハウス

〒299-4347 千葉県長生郡長生村小泉1310

TEL (0475)32-6863 [FAX 兼用]

○南房総ハウス

〒294-0051 千葉県館山市正木562-11

TEL(0470)27-3693 [FAX 兼用]